

## ハダニ防除の強い味方！

チリカブリダニ剤

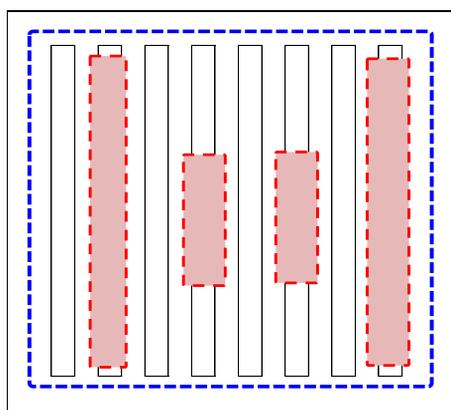
チリトッポ<sup>®</sup>

作物名	適用害虫名	使用量（10a当たり）	使用時期	使用方法	使用回数
野菜類(施設栽培)	ハダニ類	2000～6000頭	発生初期	放飼	—

規格：2,000頭/500ml

1本当り2,000頭のため、圃場の面積に合わせて放飼量の調整ができます。

## 【影響のある薬剤を避けること以外に、上手に使うポイント】



- ①カブリダニはボトル内に偏在していることがあります。放飼前に10～20分ほどボトルを横に寝かせて下さい。
- ②放飼直前に横に10回、縦に10回ゆっくりと回転させて、ボトル内の天敵を均一にして下さい。



ミヤコカブリダニは畝全体に放飼し、チリトッポは毎年発生が多い畝に放飼してください。空容器は圃場に置いてください。

③1畝放飼する毎に、②を行ってください。

ボトルから直接放飼するか、キャップに分けて放飼してください。



・ハダニによるクモの巣が見られる時に放飼した場合、捕食が追いつかない場合があります。

・放飼前は殺ダニ剤やエコピタ液剤等の散布を行い、極力密度を減らした後、直ぐに放飼してください。

・発生場所を中心に、2～3本/1反放飼してください。



・効果は子供、孫の代までカブリダニが増えてきた時発揮されます。

・温度が必要なため、最初は11月中に放飼してください。

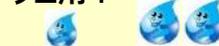
エコピタ<sup>®</sup>液剤

- ・薬剤の効きにくいハダニを絡めとって窒息させます。
- ・薬害リスクも低く、何回でも使用できます。
- ・育苗期から天敵放飼前にハダニの密度を減らすため、4～5日間隔の連続散布か、殺ダニ剤と混用して散布してください。
- ・葉裏までしっかり丁寧に散布してください。
- ・放飼後は、ハダニの多い所にスポット散布してください。

ダニ剤+



ダニ剤+



本圃生育期

開花期

- ラベルをよく読む。
- 記載以外には使用しない。
- 小児の手の届くところには置かない。
- 空容器は圃場等に放置せず適切に処理する。